

広がる国際交流

匝瑳高校が米国高校生を受け入れ

匝瑳高校で6月11日から26日、千葉県の姉妹州である米国ウィスコンシン州にあるリンカーン高校の生徒が受け入れられました。昨年の10月には匝瑳高校から6人の生徒を同高校へ派遣し、受け入れは今回が初となりました。滞在中は、須賀小学校を訪問して児童たちとの交流を深めたほか、茶道や華道をホスト生徒と一緒に体験しました。



須賀小で自己紹介するリンカーン高校の生徒たち



洗練された操法を披露

第44回千葉県消防操法大会

中央分団第4部が健闘

県消防操法大会が7月26日、県消防学校で開催され、やけつくような日差しの下、各支部大会を勝ち抜いた精鋭たちが日ごろの訓練の成果を競いました。

本市からは中央分団第4部が、海匝支部代表としてポンプ車操法の部に出場し、12チーム中7位の成績（努力賞）を収めました。応援席からは健闘をたたえる声が多く聞かれました。

45人の児童が^{めん}麺づくり

共興地区でそば打ち体験

共興コミュニティセンターで7月27日、共興小の児童45人と、その保護者が参加して、そば打ち体験が行われました。これは、共興地区社会福祉協議会の主催で昨年から始まった事業で、今年で2回目となります。昨年の第1回が好評を博し、今年は参加者が倍増。青少年相談員活動の中で、そば打ちを経験したことのある保護者が講師となり、子どもたちは、そば粉から麺になるまでのすべての工程を体験しました。作業中は真剣な表情だった子どもたちも、試食の時間には「おいしいね」などと笑顔で話していました。



上手に切れるかな？

お祭り気分を満喫

ぬくもりの郷納涼祭

そうさぬくもりの郷で8月1日、納涼祭が開催されました。参加した入所者や家族は、夜店の焼きそばなどに舌鼓を打ち、なかには「おかわり」の声も。後半にはのさか太鼓の演奏があり、会場は大いに盛り上がりました。



のさか太鼓の演奏で盛り上がる会場



てこを使った救出訓練

夏休み小学生防災講座

災害への備え学ぶ

市社会福祉協議会主催による「夏休み小学生防災講座」が、8月7～8日に市民ふれあいセンターで開催され、市内小学校の5・6年生24人が参加しました。小学生たちは、災害や防災についての学習をした後、防災ボランティアによる倒れた家具からの救出訓練や、大鍋による炊き出し体験に真剣に取り組みました。

講座に参加した児童たちからは「担架を作るようになった」「倒れた家具からの救出の仕方が分かった」など、頼もしい声が聞かれました。

誓い新たに4万9千羽

「平和の像」に千羽鶴を捧げるセレモニー



平和への願いを込めて折り鶴を捧げる
ガールスカウトの子どもたち

市の平和事業の一環として、八日市場駅前「平和の像」に千羽鶴を捧げるセレモニーが8月1日に行われました。

当日は老人クラブ連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト、市内の中学校の生徒ら約70人が市民代表として出席。平和への願いを込めて、多くの皆さんから寄せられた4万9千羽の折り鶴が「平和の像」に捧げられました。また、この折り鶴は終戦記念日の8月15日まで掲示されました。



地井さんから贈られた色紙

地井武男さん直筆の作品「想創奏」が豊和小学校へ贈られました。これは、同校の石橋一裕校長先生が色紙にメッセージを依頼したところ、地井さんが「想創奏」の文字と水彩画を描いてくださったものです。

この「想創奏」という言葉は、同校の「めざす教職員像」にも取り入れられており、学校を象徴する言葉となっています。また、水彩画には、「子どもたちに若竹のように真っすぐ育て欲しい」という地井さんの願いが込められています。

子どもたちに願いを込めて
地井さんが豊和小へ作品を寄贈



お祭りいろいろ



子ども神輿やピア・ダンスのさか太鼓など盛りだくさん。夜空を彩る大輪の花火で祭りはクライマックスへ。

7/26
のさか
ふれあい祭り



白装束を身につけた神楽士がおごそかに巡行する御神幸行列。

7/23

富谷・愛宕神社祭礼

7/17 東谷・八坂神社祇園祭



「けんか神輿」の異名をとり、大勢の担ぎ手で荒々しく揉まれる八坂神社の神輿。



7/27
星宮神社祭礼



若人が担ぐ神輿は、夜の町内を威勢良く練り歩く。

7/25 駒まね・市場まつり

駒まねのため、若竹を持って八重垣神社に参詣する人(右)と、多くの人でにぎわう市場まつりの会場(下)。当日は約1万7千人が訪れました。



7/20
堀川西祇園祭
囃子や踊りの奉納後、吉祥院の特設舞台で、のさか太鼓や民謡などの演芸が行われ盛り上がりました。

